

科目名	プレ実務実習			ナンバリング	PRA181	授業形態	実習
対象学年	4 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	4 単位
代表教員	福地祐司	担当教員	福地祐司○、吉川真一○、住谷賢治、永田隆之、渡邊義久○、石川暁志、村田 亮○、飯塚康人				

授業の概要	医療の現場において、薬剤師としての職能を充分発揮するために、病院・薬局実務実習に先立って調剤や服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識・技能・態度を修得する。具体的には、 1 調剤に係わる知識・技能・態度、2 注射薬調剤に係わる知識・技能・態度、3 医師や患者に対応するときの技能・態度、4 バイタルサイン測定に係わる知識・技能・態度、5 TDM業務に係わる知識・技能、6 カルテの読み方や服薬指導記録記載方法に係わる知識・技能などである。						
到達目標	1 実務実習を行う薬学生にふさわしい態度や身だしなみを実践できる。 2 処方せんに基づいた計数調剤、計量調剤ができる。 3 注射剤を無菌的操作で調剤できる。 4 代表的な医薬品について、患者背景や接遇に配慮した服薬指導ができる。また、その内容についてSOAP形式の服薬指導記録を作成できる。 5 診療録(カルテ)から服薬指導に必要な情報を抽出できる。 6 処方せんの問題点を解決するための医師との連携について説明できる。 7 代表的な薬物について、モデルデータから投与計画をシミュレートできる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	時間を厳守すること(原則として、遅刻・途中退室は認めない)。 実習態度・身だしなみを厳しく評価するが、評価する基となる基準表は、実習開始時のガイダンスで配布し、説明するので、遵守すること。 実習で学んだ知識・技能・態度について必ず復習し、また、練習できることについては、確実に身につけることができるよう繰り返し練習すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
		2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
		5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 実務実習に必要な最低限の知識を身につけている。 2. 実習の実技課題を時間内に何とか終わらせることができる。 3. 態度のルーブリック評価がすべて2以上である。	1. 実務実習に必要な知識を十分に身につけている。 2. 実習の実技課題を制限時間の1分以上早く終わらせることができる。 3. 態度のルーブリック評価がすべて3である。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					30%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加				○			40%
実技試験					○		30%

課題、評価のフィードバック	各項目で実施した課題について、終了後に良い点、悪い点、改善案などについて、その都度フィードバックする。□
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	実務実習の心構え	プレ実務実習と、OSCE、実務実習についての説明を行う。マナー講座を実施し、実務実習を行う薬学生にふさわしい態度や身だしなみを身につける。	SBO:A-(1)-①-1～3、F-(1)-②-2
	第2回	調剤業務①	計数調剤、計量調剤（散剤、水剤、軟膏剤等の調剤）について、講義と実習を行う。	SBO:F-(2)-③-1～3
	第3回	調剤業務②	処方せんに基づいて調剤された様々な調剤薬を鑑査できるよう、講義と実習を行う。	SBO:F-(3)-③-8
	第4回	疑義照会①	処方せんの様式、必要記載事項、記載方法について学ぶと共に、様々な処方せんを鑑査する実習を行う。	SBO:F-(2)-②-1～5
	第5回	疑義照会②	疑義照会の実際について、ロールプレイング等の実習を行う。	SBO:F-(2)-②-6
	第6回	患者・来局者対応①	患者・来局者に対する初回面談時に必要な知識・技能・態度について、講義と実習を行う。	SBO:F-(2)-④-1～3,7,8、(3)-①-1,2、②-1
	第7回	患者・来局者対応②	患者・来局者に対する服薬指導やOTC販売時に必要な知識・技能・態度について、講義と実習を行う。	SBO:F-(2)-③-4、④-1～8、(3)-①-1,2、②-1
	第8回	注射薬調剤①	無菌操作の基本についての講義および実習を行う。	SBO:F-(2)-③-6,7
	第9回	注射薬調剤②	注射剤に調製（中心静脈栄養剤、抗がん剤調製を含む）について実習を行う。	SBO:F-(2)-③-6,7
	第10回	リスクマネージメント	感染予防の基本的な考え方について講義を行い、衛生的な手洗いを実習すると共に、消毒薬の濃度・調製について演習を行う。	SBO:F-(2)-⑥-4～6
	第11回	患者情報と医薬品情報	模擬カルテから必要な患者情報を収集し、薬物治療上の問題点を抽出する実習ならびに個々の患者に合わせた「お薬説明書」を作成する実習を行う。	SBO:F-(1)-③-2、(2)-④-7、8、(3)-①-1,2、②-1
	第12回	服薬指導記録の作成	個々の患者に合わせた服薬指導プランの作成とSOAP形式の服薬指導記録を作成する。	SBO:F-(2)-④-8、(3)-④-2,3
	第13回	TDM	代表的な薬物について、モデルデータから投与計画をシミュレートする。	SBO:F-(3)-③-1,2 ア-E4-①-4
	第14回	バイタルサイン	血圧、脈拍、呼吸など、基本的なバイタルサインの測定を学び、測定を行う。	SBO:F-(3)-①-3,4
	第15回	まとめ	実習で得た技能・態度が身についているかを確認するために、実技試験を行う。	
	試験	実習で得た知識が身についているかを確認するために、筆記試験を行う。 実習で得た技能が身についているかを確認するために、実技試験を行う。		
授業の進め方		初めに実習を行うに当たって必要な知識・技能・態度について講義を行った後、実習を行う。		
授業外学習の指示		【予習】予定されている実習項目について、教科書で予習を行う。(30分) 【復習】実習で得た手技を忘れないように練習する。(60分) (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	①②薬剤師業務の基本、羊土社、上4,104円、下3,888円、ISBN 978-4-7581-0929-1、978-4-7581-0930-7 ③治療薬マニュアル2018、医学書院、5,400円、ISBN 978-4-260-03666-5 ④カルテの読み方と基礎知識、吉岡ゆうこ、塚田弥生、じほう、3024円、ISBN 978-4-8407-3668-8
参考書	
参考URLなど	
その他	薬剤師として求められる基本的な資質(⑥ 薬物療法における実践的能力):薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。 アドバンスト:5% 準備教育:00% 大学独自:00%

プレ実務実習 態度点 評価表

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		十分に満足できる。（上級レベル） 全て該当すること。（2点）	やや努力を要する。（初級レベル） （1点）	相当の努力を要する。（不可レベル） （0点）
1	挨拶	実習室に最初に入室する際および実習終了時に退出する際に、教員に元気よくかつ丁寧に挨拶する。	実習室に最初に入室する際および退出する際に挨拶する。	教員に挨拶しない。
2	実習開始前の態度、遅刻	☐ 実習開始5分前に白衣を着て着席している。 ☐ 静かに実習開始を待っている。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	☐ 上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。 ☐ 遅刻している。
3	実習中の態度	☐ 真摯な態度で率先して実習に取り組む、他の学生の模範となっている。 ☐ 教員に尊敬語と丁寧語を使い分けて接することができる。 ☐ 講義内容をよく理解し、手帳などにメモを取り、実習内容をよく理解している。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。また、以下の要件にあたる場合も不可レベルとする。 ☐ 私語が多い。 ☐ 携帯電話を操作している。
4	白衣	☐ 襟も折れていない。 ☐ 袖の紐もまとめられている、あるいは丁寧に折り曲げている。 ☐ 白衣の袖からシャツ等の袖が出ていない。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。
5	靴	☐ 白色の室内用靴を履いている。 ☐ 靴ひも等の乱れはない。 ☐ 汚れが無い。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。
6	調剤中のキャップ・マスクの装着 （患者対応は対象外）	☐ ヤップから髪の毛が全くはみ出ておらず、襟足までしっかりと覆っている。 ☐ マスクの上下、表裏を正しく装着し、鼻の形に合わせて折って着用している。 ☐ 髪全体がマスクから顎の下までマスクで隠れている。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。
7	髪型、爪、アクセサリー	【髪型】 ☐ 清潔な髪色で清潔感のある髪型で整っている。 【髪の色】 ☐ 男性は目にかぶらない。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。
8	白衣の中の服装	【男性】 ☐ 襟付きの白系Yシャツを着用し、ボタンを最上段まできちんと留めている。 ☐ ネクタイ着用の指示がある時は、派手でない色調の紳士用ネクタイを着用している。 ☐ 折り目がついている黒・紺・グレーなどの色調のスラックスや白衣ズボンを履いている。 【女性】 ☐ 襟付きの白系ブラウスを着用し、ボタンを最上段まできちんと留めている。 ☐ 折り目がついている黒・紺・グレーなどの色調のスラックスやスカート、あるいは白衣ズボンを着用している。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。また、以下の要件にあたる場合も不可レベルとする。 【男性】 ☐ 襟なしのTシャツ等を着用している。 ☐ ジーンズ、裾の短いパンツを履いている。 【女性】 ☐ 極端に短いミニスカートを着用している。 ☐ 胸や肩などが大きく露出しているシャツを着用している。
9	靴下	☐ 黒・紺・グレーなどの色調の紳士用靴下を着用している（男性）。 ☐ 華美でないストッキングや靴下を着用している（女性）。	色柄が濃い派手な靴下やストッキングを着用している（男性・女性）。	☐ 素足である（男性・女性）。 ☐ 網タイツを着用している（男性・女性）。
10	化粧、香水、香り	☐ ナチュラルメイクに徹している。 ☐ チーク、アイシャドー等はしていない。 ☐ 口紅の色調は控えめである。 ☐ 香水をつけていない。 ☐ タバコ臭はない。	上級レベルの要件を満たしていない点が1点ある。	上級レベルの要件を満たしていない点が2点以上ある。